

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 26 年 12 月 19 日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670102518
法人名	医療法人春風会
事業所名	グループホームはるかぜ荒田
所在地	鹿児島市下荒田2丁目39-1 (電話) 812-3866
自己評価作成日	平成26年11月11日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成26年12月9日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

鹿児島市の中心部に位置しており、電車、バスなどの交通機関に利便性があるためご家族の方にも訪問しやすい環境がある  
閑静な住宅街で、騒音もないため、入居者の方は穏やかな時の中で過ごされている。  
近くの天保山中学校、古田ヶ浜公園は、入居者の方の散歩コースになっており、子供達の姿を見かけて喜ばれ、住宅街に植えてある花を眺めては季節を感じて頂いている。  
又、散歩することで、気分転換を図りつつ、歩行力の維持にも繋げており、朝のラジオ体操から、一日は始まり、下肢訓練の強化に努めている。協力医療機関の田上記念病院を始めとして、緊急時には、近医も多数あることから、日頃の健康管理と医療連携を重視して、促進できるように努めております。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームの近隣地域には公園・学校・保育園・消防署と住宅街に位置しながらも環境に恵まれている。同じ建物には併設の有料老人ホームもあり、各種行事へは合同で参加実施している。  
町内会にも加入し、清掃活動・公園美化活動へ参加している。他にもいろいろな行事にも招待され利用者も楽しんで参加している。地域との交流は大事な関係作りと管理者は大切にしている。  
開設来の理念とは別に職員は、一年間のはるかぜの目標・職員の自己目標を作成し、日々のケアサービスに繋げている。  
利用者とは、季節の花を一緒に植えることで四季を感じてもらっている。  
利用者の健康管理は、母体法人の医療機関との連携や看護師資格の職員とで、受診や緊急時の対応にも安心できる環境にある。  
管理者や職員は、利用者のそれぞれの思いや意向を受け止め、利用者本位の生活を支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝、一日の業務の始まりに、朝の朝礼及び、引き継ぎ時、全スタッフで、理念の唱和を実施して、めざす支援の共有化を図っている。	開設以来見直しはされていないが、理念とは別にはるかぜの目標や職員の自己目標を作成し、具体的なケアにつながる様に、理念の共有と実践を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日頃から、校区での防災訓練、町内での清掃活動、文化祭などに参加して、ホームも地域の一員として位置づけられるように啓蒙を促進している。	地域の行事には積極的に参加している。職場体験の受け入れや中学校の文化祭への出展など、地域とのつながりを大切にしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	運営推進会議、町内会で、日常の困り事、活動状況を報告したり、認知症についての理解を得られるように勉強会を定期的に行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営会議では昨年の実地指導なども、資料提出して、報告、話し合いを行い、様々な立場の方々から、ご意見を頂きながら、サービスの質向上に努めている。	定期的を開催している。行事や活動報告またヒヤリハットの状況報告、会の出席者からの意見を聞くなど情報交換をしながら、サービス改善につなげている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	苦情相談など市へ報告して相談しご家族との信頼関係が築けるように市町村担当者に実情を伝え助言と指導を受けている。	介護相談員の受け入れもしている。市の担当者とは相談や情報交換を行い、日頃から協力関係を築き関係作りはできている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月の職場ミーティングに於いて身体拘束委員会でリスクのある事案について提出し検討を行いつつ、評価し定期的に勉強会、研修会の機会を捉えて、全スタッフの意識向上を図っている。	入所時に身体拘束をしないケアについて事業所の指針を説明し同意書をもっている。日中は施錠をしないなど、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月の職場ミーティングに於いて、身体拘束も同様に、リスクのある事案について、提出、報告を行い、全スタッフで検討し勉強会、研修の機会を捉えて意識向上図っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	定期的に勉強会を行い、全スタッフが、繰り返し学習できるように実施しており、ホームの入居者の方が該当する事例については司法書士にも相談を行って助言を得ている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は、利用契約及び重要事項について具体的にわかりやすい言葉で説明ができるように心がけて居り、不明な部分についてもきちんと理解と納得が得られるように説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年2回の家族会、運営推進会議の中でのご意見、要望などを聴き取り、職場ミーティングの中で職員と協議しており、その結果についてフィードバックできるように努めている。又、利用者については介護派遣相談員の助言を得ている。	利用者や家族とは、日頃から何でも話せる雰囲気作りには留意している。面会時には何でも書いてもらう連絡帳も活用している。出された意見・要望は職員で話し合い運営に反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職場ミーティングに於いて事業所の管理者会議の報告を行い、全スタッフで協議して、サービスの質向上と共に、業務改善について職員の意見を得ている。	管理者は日常の業務の中で、職員の意見や要望をきくよう心がけている。出された意見・要望は職員会議等で皆で話し合い、運営に反映している。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	健康診断を年2回実施しており各々のスタッフの体調を考慮しての勤務状況ができるように目指している。外部での介護ストレスマネジメントの学習など通じて意欲の向上を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>各々のスタッフがスキルアップできる機会を捉えて、法人内外の研修に参加できるように勧めている。受講後はレポート提出し職場ミーティングの於いて報告、情報共有に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>校区の同業者、関連の事業所や、その他の研修会等を経て交流を図り情報、意見の交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の相談から、先ず、ご本人、家族の意向をきちんと伺うことから始まり、支援者として、困り事、不安感なるべく和らげるように意識づけている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前から、事前にご家族との相談により、信頼関係を得るように傾聴し、不安や要望については充分把握することから開始している。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前から傾聴することで、安心感を持ってもらい、ご本人ご家族が最も必要としている支援を把握できるようにしており、それによっては、他サービスの提案も実施している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人が興味あること、特技、趣味を教えて頂き、日常生活の中で個々できる段階を維持できるように低下させない支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時など、ご本人の様子をきちんと伝えて、ご家族の折々の心情を汲み取ることができるようにしており、毎月「暮らしの日記」を発行して、毎日の様子を伝えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前からの、知人、友人からの電話を取り持ったり、面会のお誘いをしたり、これまでの人間関係が途切れないように、又面会時は、居室でゆっくり談話できるように配慮している。	知人や友人に訪問や、電話を取り持つなど関係を継続できるように支援している。家族の協力を得ながら自宅訪問や墓参りも行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常生活の中で、お茶や、レクリエーションを通じて、スタッフが調整役となり、お互いの会話を取り持ったりして利用者同士が関わり合いがもてるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居時もこれまで同様に相談を頂けることを説明し、当方からも訪問や、電話で、状況確認をしてフォローできるように実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者各々の思いや暮らし方の希望や意向をきちんと把握できるように、又日々、気づくように努め、喜ばれるような対応ができるように心がけている。	日々のふれあいの中で思いや意向の把握に努めている。意志疎通が困難な利用者には、表情や家族からの情報からその思いの把握に努めている。本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの収集できた情報、ご本人ご家族の会話から得た情報をもとに、スタッフ間での情報共有を行い、周知できるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の変化を詳細に確認を行い個々の利用者が、現在、どのような状況であるのかを把握して、現在、どのような対応が必要かを検討している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者一人ひとりがより良いサービスを受けられるようにご本人を含めた、関係者と協議してそれぞれの意見、意向を反映し現状に即した介護計画書を作成、モニタリングを通じて変化に対応した計画書となるように目指している。	見直しは6ヶ月毎、何か変化があればその都度話し合い計画を立てている。現状に即した計画を家族と共に情報を共有し作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、バイタルサインのチェック、全身状態の把握に努めており、個別的に記録している。情報は共有されており、計画書に反映されることで、より良い介護が、実践できるように努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人、ご家族との会話、各々の意向をきちんと把握して意見交換を行い、個々の利用者に対して柔軟に対応できるように支援している。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会、民生委員、長寿あんしん相談センター、消防署の各々の関係者と協議、意見交換を行い、協働して、利用者が地域の中で安心して楽しく暮らせるように支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医は、ご本人、ご家族が希望される受診先となっており、専門医受診の場合はご家族の同行が必要であるが、不可能な場合はスタッフが同行し、情報提供を実施している。	本人や家族が希望するかかりつけ医の受診を支援している。他科受診は家族の同行だが管理者同行になることもある。受診結果は随時家族に報告している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日、全員のバイタルサインチェックを実施しており、全身の状態の観察を行い、看護師に報告を行い、異常の早期発見に努めている。看護師は医療機関との連携を取り、主治医への情報提供を実施している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時には、介護、看護サマリーを提出して、日頃からの健康状態及び精神行動面に於いても情報提供を行い、病棟関係者 Dr、Hp 地域連携室等と情報交換を実施し、早期の退院に向けてアプローチしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時より、重度化した場合の対応について、ホームで出来ること、できないことを明確に説明して、同意を得ており、医療機関との連携をとりながら、なるべく、ホームでの生活が継続できるように努力をしている。	重度化や終末期に向けた対応については、入所時に事業所の指針を説明し同意書を得ている。看取りについては、事業所で出来る事を説明し、主治医と連携し取り組んでいる。また職員もその方針を共有している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に救急蘇生及び、AED使用方法について勉強会を実施しており、急変時には慌てないようにチームケアが取れるように心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>近年、災害について、常時、「なにが起きても不思議ではない」意識づけが必要と考え、地域住民の方にも協力を得て、年2回の消防、避難訓練が強化できるように努めている。</p>	<p>年2回、昼夜間想定避難訓練を消防署指導の下実施している。AEDの取組みもしている。地域住民との協力体制もできている。備蓄も確保している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人ひとりの人格の尊重を行い、人間としての尊厳、プライバシーを損ねないような配慮を常時、全スタッフが意識できているかを検討し、意識向上を図っている。	年間を通し内部研修や外部研修への参加も行っている。利用者への言葉使いや声かけなど、その都度意識している。人格を尊重し信頼関係を大切にする支援に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者一人ひとりの状態に合わせた、自己決定できるような場面づくりの働きかけを行い、個々の意志、希望の表出を導き出せるような支援に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	集団生活上で基本的な日課と流れはある中、その日のご本人の体調、性格、精神面に於いて柔軟に対応できるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	各々の利用者の好みをきちんと把握して、意向を訊きながら理美容の訪問サービスがうけられるように支援。毎朝の整容時のご本人に意向の確認している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事作りなどは、もやしの根取り、味見などを手伝ってもらったり、スタッフも一緒に食事を取りながら、会話ができるようにしており、音楽をかけてゆつくり楽しめる雰囲気配慮している。	誕生会には手作りケーキを作ったり、利用者にも下ごしらえのもやしの根切りや味見など手伝いをもらっている。職員も同じテーブルを囲んで食事を取っている。季節の行事には弁当持参で花見などにも出掛け雰囲気を変えて食事をとっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日、食事摂取量、飲水量のチェックを実施しており、又献立等により嗜好の把握を行い、残食の内容の確認等を行って形態を変えたりと工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアは、理念にもあり、毎食後の声かけ誘導を行い、仕上げ確認を重視している。義歯の管理も定期的に洗浄を実施している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンをきちんと把握して、働きかけの必要な方には、声かけ誘導を行いできない部分での排泄介助を実施しており、失敗の場合も、プライドを損ねない対応に配慮している。	排泄チェック表を活用している。職員は自尊心に配慮しながら声かけをして、出来る限りおむつをしないようトイレでの排泄へと支援誘導している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、排泄の確認を行い、食事内容と、飲水量に配慮して工夫して、適度な運動量等働きかけている。腹部マッサージなども適宜実施している又、主治医相談している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は週3回となっているが、毎日、体調や気分に配慮して、個々に応じた、入浴支援を実施しており、入浴拒否等にもタイミングを観たり、清拭などを適宜実施している。	入浴日にとらわれず、利用者が希望すれば体調や気分に配慮しながら支援している。入浴を拒まれる利用者には清拭に変えるなど、個別に支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	毎日の生活リズムの中で体操、レクリエーションなどで身体を動かすこと、休息できる時間のバランスを考慮しながら支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	自分で内服できない方は、スタッフが服薬介助を実施、手渡す場合にも、毎回、本人の名前を呼んで、3回は確認している。薬の効能、副作用など、個人ファイル等で理解している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居前からの情報収集から始まり、入居後は、ご本人との会話から特技、楽しみごとを随時訊きながら、日々の生活に活かせるように工夫し、無理なくできることを働きかけしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	園外活動の行事もあり、日課の中で、天候を観て近所の散歩支援を行い、ご家族、友人の方など、なるべくできる状況で、同伴しての外出の機会を増やして頂いている。	日常的な外出は散歩である。一人ひとりの体調や希望に合わせて、周辺の散歩や買い物などに出掛けている。家族の協力を得ながら外出の機会をとってもらったり、自宅訪問や墓参りも支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>各々の利用者に合せて、所持できる方には、少額でも所持して頂き、ホームでも小口預かり金がありご本人と同伴して買い物に同行して頂いている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>利用者によっては、携帯電話を所持して頂き、随時、ご家族とのやり取りができています。他の方はご本人、ご家族の要望に応じてスタッフが仲介して、取り次いでいます。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>月1回のフラワーアレンジメントの日には、季節の花を入居者が自ら、器に付けて頂き、フローアー居室に飾っている。随時、適温調整、採光、音にも配慮して居心地良く過ごせるように支援に努めている。</p>	<p>玄関口は同じ建物内の有料老人ホームと共通になっていて明るく広しい、壁には文化祭に出展した作品が飾ってある。音楽が流れ花が飾られ五感への悪い刺激が少なく、気持ちの良い生活感・季節感を感じる工夫がなされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>一人ひとりの利用者に合わせたテーブルでの席替えをしたり配置を考慮しており、ダイルームには椅子、ソファを置いて、一人でもくつろげる雰囲気づくりに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前から、ご家族と相談してご本人の居室には、今まで馴染んできた家具や物品などを配置して、ご本人が安心して居心地良く過ごせるように配慮している。	ソファ・椅子・テレビ・衣装ケースやタンス、また仏壇など利用者が使い慣れた物や馴染みの家具など置き、利用者が居心地よく過ごせる工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ユニットの中ではトイレ、洗面所は共有で各々、三箇所、配置しており、中央がデイルームとなっており、比較的にわかり易い状況がある。通路、居室の危険因子となる物は常時、排除して安全な環境づくりに努めている		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない